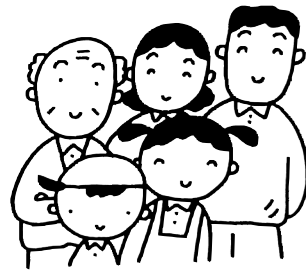




福祉・防災の町に



日本共産党の

現職議員は提案します

震災から一年、隣の福島県では15万人の方々が住みなれた家をはなれ、仮設住宅でくらしています。大子町も大きな被害にあり、放射能汚染の不安がひろがっています。日本共産党は復旧・復興をはじめ、放射能から子どもと地域を守るため全力をつくします。

■防災無線の設置

水、電気、道路の寸断など被災状況の情報が町民に伝わらない事態が occurred。近隣市町村ではすでに実施している防災無線（戸別受信機）の設置をもとめます。町内の業者に発注すれば町の活性化にもつながります。

■放射能汚染対策

独自に放射能測定器を購入し、住民とともに測定調査をおこない、さらに町にもきめ細かい測定をもとめてきました。「汚染状況重点調査地域」への指定を申請し、国の責任で除染させます。農業被害の全面補償をもとめます。

■国保税・介護保険料の引き下げ

大子町の国保税は一人あたり8万7262円。国・県の補助金増額と一般会計の繰り入れをふやし、値下げをもとめます。

■後期高齢者医療制度の廃止

濃き高齢者医療制度は75歳以上の高齢者

を家族の保険から切りはなし、医療内容も差別する制度です。この制度の廃止と医療費の負担軽減をもとめます。

■小学校ごとの学童保育

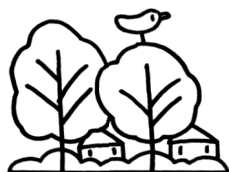
日本共産党が実施したアンケートの回答で、子育て支援の一番の要求は学童保育の実施でした。小学校ごとの実施をもとめます。

■住宅リフォームの助成

地元の建設業者や木材を活用すれば、町が一定額を助成する制度。県内でも多くの市町村で実施しています。町民は負担が減り、業者は仕事が増えると好評です。

■「原発ゼロ」を発信

東海第二原発も海水ポンプが壊れ、あわや大惨事になるところでした。「原発ゼロ」を大子町から発信します。自然エネルギーの活用・普及をすすめます。



日本共産党の議員は自分の測定器で我が家の放射能を計ってくれました。放射能の心配のないものの大子町にしてください。
上岡在住 仲沢 悦子

町長が変わるとコロッと態度を変える議員では困ります。町政のチェック役として奮闘してほしい。
下野宮在住 大森 正喜

公約にかかげた中学校までの医療費無料化、携帯電話の通信網整備など新人議員ながらよくがんばりました。
池田在住 武石 絹枝

前回、健康上の理由でバトンタッチしました。かけがえのない日本共産党の1議席、なんとしても押し上げてください。
日本共産党元町議 しば 清

